議案第43号

吉岡町立学校教育職員の地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可の取扱いに関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、中学校における休日のクラブ活動の地域移行に伴い、学校に勤務する職員が地域クラブ活動の運営団体及び実施主体(以下これらを「運営団体等」という。)から報酬を得てその指導に従事することについて、教育公務員特例法(昭和24年法律第1号)第17条第1項の規定により吉岡町教育委員会が行う兼職兼業の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 学校 吉岡町立学校設置条例(昭和40年吉岡村条例第81号)に定める小学校及び中学校をいう。
- (2) 職員 教育公務員特例法第2条第1項の教育公務員であつて、学校に勤務するものをいう。
- (3) 地域クラブ活動 地域の運営団体等が行う地域クラブ活動及び地域文化クラブ活動をいう。
- (4) 兼職兼業 職員が地域クラブ活動の運営団体等から報酬を得て地域クラブ活動の業務に従事することをいう。
- (5) 時間外在校等時間 吉岡町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則(令和5年吉岡町教育委員会規則第8号)に定める時間外在校等時間をいう。

(兼職兼業の許可の基準)

第3条 兼業兼職の許可は、次の各号のいずれにも該当する場合に限り行うものとする。

- (1) 職員の本務に支障がないこと。
- (2) 職員が勤務する学校の運営に支障がないこと。
- (3) 職員が勤務する学校又は当該学校に勤務する他の職員の信用を失墜するおそれがないこと。
- (4) 職員以外の者からの要望、同調圧力等の申請者の意思に反したものではないこと。
- (5) 職員の時間外在校等時間と地域クラブ活動の従事時間の合計時間が、次に掲げる区分に応じ、それぞれ次に定める時間を超過しないことが見込まれること。
 - ア 1か月の合計時間 100時間
 - イ 1年の合計時間 720時間
 - ウ 1か月ごとに区分した当該各期間の直前の1か月、2か月、3か月、4か月又は5か月の期間を加えたそれぞれの期間における1か月当たりの合計時間の平均時間 80時間
- (6) 1年のうち、1か月において職員の時間外在校等時間と地域クラブ活動の従事時間の合計時間が45時間を超えた月数が6か月を超過しないことが見込まれること。
- (7) 地域クラブ活動の指揮命令系統、指導体制、活動形態及び活動内容等が学校の業務と区分されていること。

- (8) 地域クラブ活動の報酬の額又はその態様が社会通念上適当なものであること。
- (9) 地域クラブ活動の運営団体等が、群馬県教育委員会が策定する「適正な部活動の運営に関する方針」及び「学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた推進計画」を遵守していること。

(兼職兼業の申請等)

第4条 地域クラブ活動に兼職兼業をしようとする職員（以下「申請者」という。）は、地域クラブ活動兼職兼業許可申請書（様式第1号。以下「申請書」という。）を当該職員が勤務する学校の学校長（以下「学校長」という。）を經由して吉岡町教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に申請しなければならない。

- 2 学校長は、前項の規定により職員から申請書の提出があった場合は、その内容を確認し、及び必要に応じて当該職員への聴取り等を行い、兼職兼業をすることが適当と認めるときは、当該申請書に副申書（様式第2号）を添えて教育長に提出しなければならない。

(兼職兼業の許可)

第5条 教育長は、前条第2項の規定による提出を受けた場合は、その内容を審査し、兼職兼業の可否を決定し、地域クラブ活動兼職兼業許可（不許可）決定通知書（様式第3号）により、申請者及び学校長に通知するものとする。

(健康管理)

第6条 学校長は、前条の規定による許可を受けた申請者（以下「兼職兼業職員」という。）の時間外在校等時間の管理その他健康管理を行うため、当該兼職兼業職員に地域クラブ活動従事時間報告書（様式第4号。以下「報告書」という。）の提出を求めることその他必要な措置を講じるものとする。

- 2 兼職兼業職員は、地域クラブ活動に従事した日の属する月の翌月5日までに報告書を学校長に提出しなければならない。
- 3 学校長は、前項の規定による提出があった場合は、その内容を確認し、兼職兼業職員が地域クラブ活動に従事した日の属する月の翌月10日までに当該報告書の写しを教育長に提出しなければならない。

(許可の取消し)

第7条 教育長は、兼職兼業職員が第3条各号に掲げる基準のいずれかに該当しないことがわかったときその他必要があると認めるときは、その許可を取り消すことができる。

(保険への加入)

第8条 地域クラブ活動の運営団体等及び兼職兼業職員は、地域クラブ活動への従事中に事故等が発生した場合における損害賠償その他の民事上の責任に対し、適切な保険に加入するよう努めるものとする。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、職員の地域クラブの活動への兼職兼業に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

様式第2号（第4条関係）

年 月 日

吉岡町教育委員会教育長 様

学校名
学校長氏名

副申書

下記の者から別紙のとおり、地域クラブ活動兼職兼業許可申請書の提出がありましたので、吉岡町立学校教育職員の地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可の取扱いに関する要綱第4条第2項の規定により、副申します。

記

副申する職員の氏名

学校名

学校長

（申請者）

様

様

吉岡町教育委員会教育長

印

地域クラブ活動兼職兼業許可（不許可）決定通知書

年 月 日付けで申請のあった地域クラブ活動に係る兼職兼業については、下記のとおり決定しましたので、吉岡町立学校教育職員の地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可の取扱いに関する要綱第5条の規定により、通知します。

記

1 兼職兼業を許可する期間（不許可の場合は、その理由）

年 月 日から 年 月 日まで

2 兼職兼業を許可した地域クラブ活動

(1) 地域クラブ活動の運営団体の名称

(2) 地域クラブ活動の名称

(3) 地域クラブ活動の内容

(4) 地域クラブ活動の月及び週ごとの従事時間並びに従事内容

従事時間 時間／1か月

時間／1週間

従事内容

3 許可条件

(1) 地域クラブ活動に従事したときは、地域クラブ活動従事時間報告書に従事した時間等を記入し、その月の翌月5日までに学校長に提出すること。

(2) 学校長は、地域クラブ活動従事時間報告書の提出を受けた日の属する月の翌月10日までに当該地域クラブ活動従事時間報告書の写しを教育長に提出すること。

(3) 時間外在校等時間と地域クラブ活動の従事時間の合計時間が一の月において100時間を超え、1年において720時間を超え、又は月平均において80時間を超えた場合は、許可を取り消すことがある。

(4) 時間外在校等時間と地域クラブ活動の従事時間の合計時間が45時間を超えた月数が6か月を超えた場合には、許可を取り消すことがある。

学校長 様

学校名
職・氏名

地域クラブ活動従事時間報告書

年 月 日付け 第 号で許可のあった兼職兼業については、下記のとおり活動しましたので、吉岡町立学校教育職員地域クラブ活動に係る兼職兼業の許可の取扱いに関する要綱第6条第2項の規定により、報告します。

記

活動月		地域クラブ活動に従事した時間 (A)	時間外在校等時間 (B)	AとBの合計時間 (C)
報告月	年 月	時間	時間	時間
1か月前	年 月	時間	時間	時間
2か月前	年 月	時間	時間	時間
3か月前	年 月	時間	時間	時間
4か月前	年 月	時間	時間	時間
5か月前	年 月	時間	時間	時間
Cの平均時間（1時間未満の端数は、1時間とする。）				時間

令和6年9月18日提出

吉岡町教育委員会教育長 山口 和良

提案理由

中学校における休日の部活動の地域移行に伴い、教育公務員が運営団体から報酬を得て、その地域で実施されるクラブ活動の指導に従事しようとする場合において、吉岡町教育委員会が教育公務員特例法の規定による兼職兼業を許可する判断基準その他必要な事項を定めるもの。